

## 令和2年度屋久島世界自然遺産・国立公園における山岳部利用のあり方検討会 における検討状況

### 1. 経緯

平成28年度、世界自然遺産地域・国立公園の山岳部の自然環境を保全するとともに、山岳部利用者に屋久島らしい質の高い利用体験を提供することを目指し、山岳部利用のビジョンを定め、施設の整備及び維持管理、利用者管理並びに情報提供等の適切な管理方策を検討するため、有識者等による「屋久島世界自然遺産・国立公園における山岳部利用のあり方検討会」を設置。概ね「骨子イメージ」に沿って検討を進めている。

平成29年度は「屋久島世界自然遺産・国立公園の山岳部適正利用ビジョン」（以下、「ビジョン」と記載）を取りまとめ、平成30年度は、登山道の現況や魅力を整理し、適正利用のため登山道のルートごとの「あるべき利用体験ランク」とランクごとの目標・方針を取りまとめた。前年度の令和元年度は、ビジョンの「一言フレーズ」を決定し、主に施設の整備と維持管理関係について議論を行い、登山道の区間毎の施設整備・維持管理水準を設定した。

#### <全体スケジュール実績と予定>

2016年度 (H28年度)	第1回検討会(12/25) 第2回検討会(2/4)	基本理念 基本方針 (1~4)	ランク設定 (5~6)
2017年度 (H29年度)	第1回検討会(7/17) 第2回検討会(8/18-20) 第3回検討会(11/4-6) 第4回検討会(1/29)		
2018年度 (H30年度)	第1回検討会(7/31) 第2回検討会(10/9) 第3回検討会(11/12) 第4回検討会(1/14)		
2019年度 (H31・R1 年度)	第1回検討会(6/14) 第1回作業部会(9/8) 第2回検討会(9/9) 第2回作業部会(11/30) 第3回検討会・講演会(12/1) 第3回作業部会(1/12) 第4回検討会(1/13)		
2020年度 (R2年度)	第1回検討会(9/24) 第2回検討会(2/17)		
2021年度 (R3年度)	1回程度の検討会開催 年度内1回のシンポジウム開催(予定)		

## 2. 令和2年度進捗状況

当初、検討会を3回開催する予定であったが、年度当初より全国的に拡大している新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置により、令和3年1月上旬時点で1回のみ開催している状況である。今年度は、平成30年度にとりまとめた「施設整備・維持管理方針」をもとにした「登山道区間ごとの施設整備・維持管理シート」の策定、利用者誘導及び情報の提供等のビジョンへの記載について議論を進めているところである。

(1) 検討会・作業部会開催日時：上表参照

(2) 参加者

### <検討会>

- 【検討委員】** 柴崎茂光（国立歴史民俗博物館准教授）  
（五十音順。敬称略） 土屋俊幸（東京農工大学大学院教授） ※座長  
 吉田正人（筑波大学大学院教授）
- 【関係機関】** 林野庁九州森林管理局、鹿児島県、鹿児島県教育委員会、屋久島警察署  
 屋久島町、公益財団法人屋久島環境文化財団、屋久島町議会  
 屋久島町区長連絡協議会、公益社団法人屋久島観光協会  
 屋久島山岳ガイド連盟、屋久島レクリエーションの森保護管理協議会  
 宮之浦岳岳参り伝承会、環境省九州地方環境事務所
- 【オブザーバー】** 屋久島世界遺産科学委員会委員

### <作業部会>

- 【参加者】** 屋久島観光協会ガイド部会、屋久島山岳ガイド連盟、屋久島公認ガイド、  
 屋久島森林生態系保全センター森林保護員、  
 屋久島レクリエーションの森保護管理協議会、  
 屋久島自然保護官事務所自然保護官補佐 計10人程度
- 【オブザーバー】** 検討委員

## (3) 令和2年度以降の検討の流れ

